

スポーツ教養プログラム【ユース】活動報告

1 日時

2024年10月19日（土） 18時25分から20時30分まで

2 会場

栄ガスビル ガスホール

3 プログラム名

アンチドーピング

4 講師（敬称略）

一般社団法人愛知県薬剤師会 竹林 まゆみ（公認スポーツファーマシスト）

5 活動内容

ドーピングは、フェアプレイの精神に反し、アスリートの健康を害することや、支えてくれた多くの人々を裏切る行為でもあります。ドーピング禁止薬は、総合かぜ薬や栄養ドリンク等の医薬品にも含まれており、サプリメントにも禁止物質が含まれている可能性があるため、普段の生活から十分注意していないと、今までの努力が水の泡になってしまうことを学びました。

ドーピング検査の検体（血液や尿）採取は、競技会場だけでなく、検査員がトレーニング先や宿泊先等に昼夜を問わず訪れて行われており、不正防止のため、尿検体の採取は検査員の見ている前で行うことの説明もあり、驚いた表情を見せるアカデミー生もいました。

トップアスリートを目指すアカデミー生やその保護者にとって、ドーピングは「知らなかった」では済まされない重要な問題であり、ドーピングに対する正しい理解と適切な行動は、アスリートの責務であることを学びました。



講師の竹林先生



講義の様子



医薬品の成分を確認する様子



メモを取る様子